

"On Stage" 2018

Free Hills Jazz Orchestra
フリーヒルズジャズオーケストラ

10年間続いた名古屋市立千種台中学校ジャズオーケストラ部は、顧問の先生の転勤により廃部となったため、それならば自分達で作ろうと卒業生や在校生が集まって自由ヶ丘会館を拠点に2001年20人ほどで結成。

その後、部員数が70人以上になり練習室に入り切れなくなったこと、小学生でもジャズしたいという人が出てきたため、2009年4月から小中学生だけのLittle Hills Jazz Orchestraと高校生だけのFree Hills Jazz Orchestraに別れて練習している。2013~2016年、小中学生バンドは神戸で行われているJapan Student Jazz Festival 中学生の部で優勝、2014、2015年、高校生バンドは国際ジュニアジャズオーケストラフェスティバルでグランプリ。

ホームページ：<http://fhjo.crayonsite.net/> ツイッター：@FHJO_LHJO

<ビッグバンド>とは

吹奏楽より楽器の種類が少なく管楽器はサクソフォーン（アルト2、テナー2、バリトン1）トランペット4、トロンボーン4の3種類とピアノ、ギター、ベース、ドラムスというリズム楽器で通常は17人編成です。それにクラリネットやフルート、ティンバレスなどのパーカッションが入ることもあります。スウィングジャズは2拍目と4拍目にアクセントがあります。学校で習う音楽とは逆ですね！

稲沢版 スペシャルゲスト！ LECCIA・JAZZ・QUINTET（レチア・ジャズ・クインテット）

稲沢市にある音楽スタジオ『スタジオレチア』の講師により結成されたジャズバンド。
ハードバップを基調としつつ、現代の様々な音楽感覚を柔軟に取り入れたボーダレスなサウンドを追及。



【山田洋資】（トランペット）

京都市生まれ。高校時代、朝日新聞社主催アンサンブルコンテストで全国大会出場を果たすなど活躍、文化賞を授与される。京都私立花園高等学校卒業後、大阪音楽大学に入学。在学中より京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団等で演奏経験を積む。第23回日本クラシック音楽コンクール最高位。ジャズプレイヤーとしても年間100本近いLIVEをこなし、国内外のトップアーティストらとも共演する。トランペットを故加藤隆功、宮村聡、北村源三、ジェームズ・ワトソンの各氏に師事。松栄堂楽器岐阜本店ジャズ科講師・スタジオレチア講師・ヤマハ音楽振興会講師・日本クラシック音楽コンクール審査員・同コンクールガラコンサートオーケストラ団員。



【平井尚之】（サクソ）

愛知県一宮市出身、在住。高校で入部した吹奏楽部でサクソを手にし、その後亀井明良、小串俊寿の各氏に師事し、洗足学園音楽大学に進学。大学在学中は富岡和男、大和田雅洋の各氏に師事し、クラシックスタイルの演奏を学ぶ。大学卒業後、ジャズサクソを、大森明、土岐英史の各氏に師事。現在はジャズコンボやビッグバンドなどのジャズスタイルのほか、吹奏楽やサクソ四重奏といったクラシックスタイルでも演奏活動を展開中。また、ジャズ奏法やジャズ理論のセミナーを名古屋や岐阜などで開催するなど、ジャズの普及活動にも注力している。音楽教室 North Cherry Music 代表。The BISHU Jazz Orchestra 主宰。



【井本真由】（ピアノ）

4歳からクラシックピアノを始める。幼少の頃からゲーム音楽が大好きで、斬新且つユニークな独自のアイデアを作曲やアレンジに取り入れた演奏スタイルで音楽を貫く。その後入学した甲陽音楽学院でJAZZの世界にのめり込み、在学2年目にはプロとして演奏活動を開始。卒業後は研究科 Master コースに進学、修了し、甲陽名古屋校初の Master 資格取得者となる。その後もライブやイベント等様々なシーンで音楽活動を展開。また、演奏だけでなく楽曲制作でも力を発揮している。そのスタイルは、トラディショナルなJAZZを尊重しながらも、常にジャンルを超えた幅広い視野で「音楽」と向き合っている。



【大久保健一】（ベース）

ビートルズやエリッククラプトンの影響を受け、16歳の時ギターを始める。その後ベースに転向し、ジャコパストリアスの影響を受けジャズの道へ入る。ジャズベースを俵山昌之氏、北川弘幸氏に師事。現在ウッドベース、エレキベース両方をプレイし、ジャズ、ボサノバ、ラテン、ファンクなど幅広いプレイスタイルで活動中。ベーシスト、コンポーザーとして参加している日本屈指のアコースティック・ジャズ・バンド『native』では、レコードメーカー数社より10枚のフルアルバム、4枚のEPをリリース。『native』の活動として2007年4月にはアルバム"Prussian Blue"で世界デビューを果たし、ドイツ、台湾、中国等で公演を行う。2014年『マルセロ木村バンド』にて名古屋ブルーノート出演。2013年、2016年、中国南京国際JAZZフェスティバル出演。



【上野智子】（ドラム）

13歳から独学でドラムを始め、学生時代から数多くのライブ、コンクール等に出演し経験を積む。2008年名古屋音楽大学ジャズ・ポピュラーコースに入学し、ジャズドラムを黒田和良氏に師事。クラシックパーカッション・打楽器アンサンブルを山口恭範氏に師事。現在、東海地方を中心にジャズ、ポップスをはじめとした様々なジャンルで精力的に演奏活動中。また、ドラム講師として後進の指導にもあたっている。



会場案内図

名鉄名古屋駅から国府宮駅まで特急で約10分